中国四国教育学会

第76回大会プログラム

2024年11月23日(土)・11月24日(日)

岡 山 大 学

＜目　次＞

大会参加要領……1
大会日程……2
自由研究発表（第一日）……9
公開シンポジウム……23
自由研究発表（第二日）……21
ラウンドテーブル……35

現時点では対面開催を予定しておりますが、状況によって変更する可能性もございます。最新の情報は学会ホームページ http://cssse.hiroshima-u.ac.jp/ をご確認ください。

大 会 参 加 要 領

０．はじめに

以下にご案内する大会の枠組・参加要領につきましては、状況に鑑み変更される場合がございます。本学会 HP にて最新の情報を掲載しておりますので、大会開催前に逐次ご確認ください。

学会 HP：https://cssse.hiroshima-u.ac.jp/html/meeting.html

１．大会の開催形式と会場案内

自由研究発表、シンポジウム、ラウンドテーブル、総会、懇親会すべて対面での開催をいたします。会場図、アクセスについては次頁以降をご覧ください。

お車でお越しの方は有料の駐車場がキャンパス内にございますが、数に限りがあるため、極力公共交通機関をご利用ください。近隣のコンビニへの駐車は絶対にしないでください。

２．大会への参加申し込み

大会参加オンライン申込期間（しくみネット）

10 月 23 日（水）～ 11 月 14 日（木）

学会 HP に、参加申込 URL を貼付いたしますので、事前申込に協力をお願いします。

（大会当日も受け付けます。非会員の方は当日受付のみとなります。）

大会参加費　事前申込：正会員 2,000円（学生会員 1,000円）
当日参加：正会員 2,500円（学生会員 1,500円）
非会員 2,500円（学生の非会員は1,500円）

懇親会費　事前申込：正会員 4,500円（学生会員 3,000円）
当日参加：正会員 5,000円（学生会員 3,500円）
非会員 5,000円（学生の非会員は3,500円）

現職教員（臨採、非常勤含む）、日本学術振興会特別研究員（PD、DC、DC2、RPD）の方は正会員です。

参加申込後のキャンセルや登録内容の変更については一切対応いたしかねます。

非会員および事前申込のない当日参加会員は、大会当日に支払い（現金のみ）を受付いたします。

事前参加登録・支払いされた方は、受付に名札入れ（参加証明付き）を置いておりますので、それを受け取り、ご自身で名札をご記入いただくか、名刺をお入れください。

受付開始時間 8:30（一日目）、9:00（二日目）

３．各部会の持ち方について

■自由研究発表要領

自由研究発表　個人研究：発表15分、質疑 5分
共同研究：発表30分、質疑10分
（ただし、発表者が１名の場合は、個人研究に準じます。）

総括討議は、各部会で最後に20～40分程度行います。発表者は必ず参加してください。

自由研究発表における共同研究者の氏名は、原則、「発表申込用紙」に記入された順序に従っています。また、〇印は口頭発表者です。

発表者は、レジュメを30～40部程度ご用意いただき、当日ご持参ください。万一不足しても、大会本部ではコピー等いたしかねますのでご了承ください。

液晶プロジェクタを用いて発表される方は、各発表会場の開始20分前までに会場にお越しいただき、機器の調整・テストを行ってください。また、ノートパソコン（Windows 搭載）をご持参ください。Mac 用アダプターはご持参ください。

発表題目は、大会プログラムに記載されているものと同じものを用いてください。

発表取り消しがあった時間帯は、ミニ総括もしくは休憩時間に充てられますのでご了承ください。

■公開シンポジウム

公開シンポジウムのみ大会参加費をお支払いされずに、ご参加いただけます。

４．昼食について

第一日目（土）・第二日目（日）ともに学内食堂・生協等は営業しておりません。近くのコンビニ、飲食店をご利用ください。大学近辺のいくつかのコンビニ・飲食施設は徒歩５～10分圏内にございます。

５．連絡先

やむをえず**発表を取り消される場合は、速やかに学会事務局まで**ご連絡ください。その他ご不明な点は、大会実行委員会までお問い合わせ願います。

大会実行委員会および学会事務局連絡先

中国四国教育学会 第 76 回大会実行委員会

〒700-8530　岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院　教育学研究科
大会についてのお問い合わせ：086-251-8508（宮本研究室直通）
委員長：尾島卓　　事務局長：宮本勇一
委　員：梶井一暁　金川舞貴子　池田匡史

学会事務局（発表取り消しの連絡）

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院人間社会科学研究科教育学系コース内
082-424-4610（事務局）cssse@hiroshima-u.ac.jp
事務局長：曽余田浩史　　事務局次長：杉田浩崇　　事務局幹事：安藤和久　中村好甫

大　会　日　程

一日目（11月23日（土））		二日目（11月24日（日））	
8:30～	受付開始	9:00～	受付開始
9:30～ 12:20	**自由研究発表** 教育思想・学説 教育史Ⅰ 教育と社会Ⅰ 後期中等教育 教育方法Ⅰ 授業研究Ⅰ カリキュラムⅠ 教育制度 中国の教育 教職員 教師教育Ⅰ 幼児教育学Ⅰ 就学前教育 特別支援・障害児・障害者	9:30～ 12:20	**自由研究発表** 教育原理 教育史Ⅱ 教育と社会Ⅱ 大学生・高等教育 教育方法Ⅱ 授業研究Ⅱ カリキュラムⅡ 比較教育・国際理解教育 学校経営・地域コミュニティ 教師教育Ⅱ 幼児教育学Ⅱ 乳幼児 教科教育学 教科教育方法
13:30～ 16:30	**公開シンポジウム**	13:30～ 15:30	**ラウンドテーブル**
16:40～ 17:40	**総会**		
18:00～	**懇親会**		

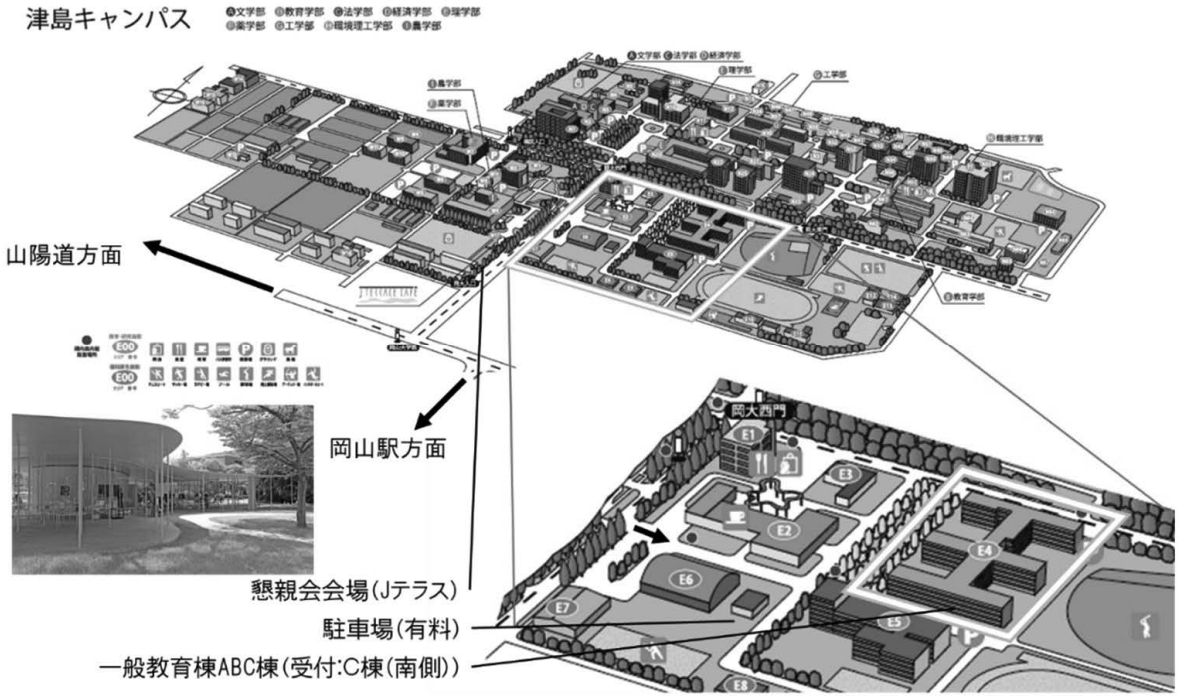
会場のご案内

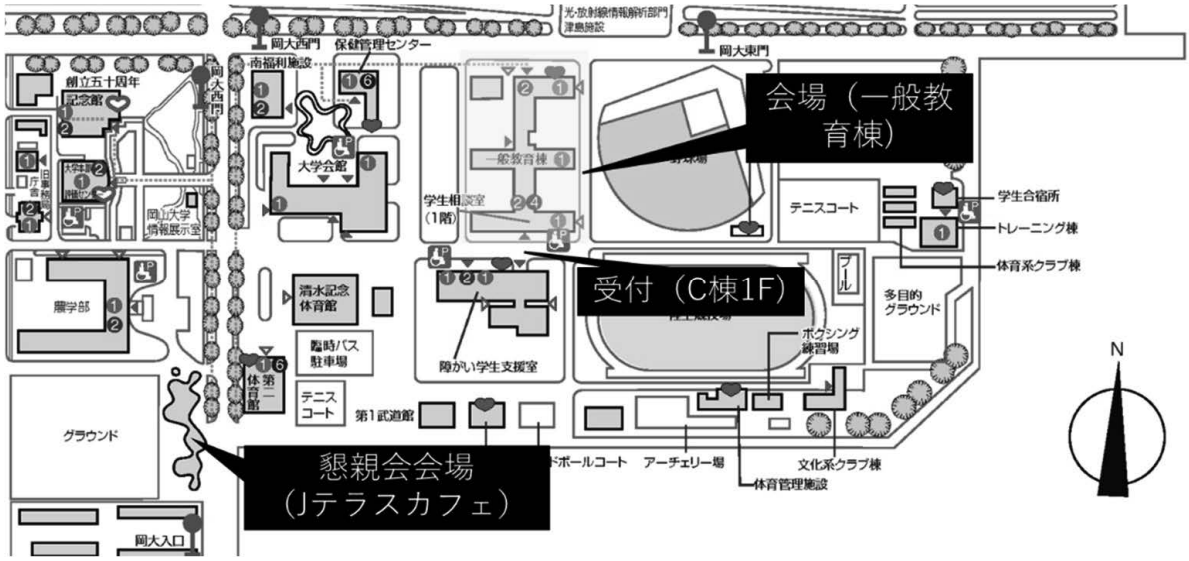
◆岡山大学まで

岡山大学まではJR岡山駅からバスが便利です。
詳しくは岡山大学HPをご覧ください：https://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_4.html

◆岡山大学　津島キャンパス構内図

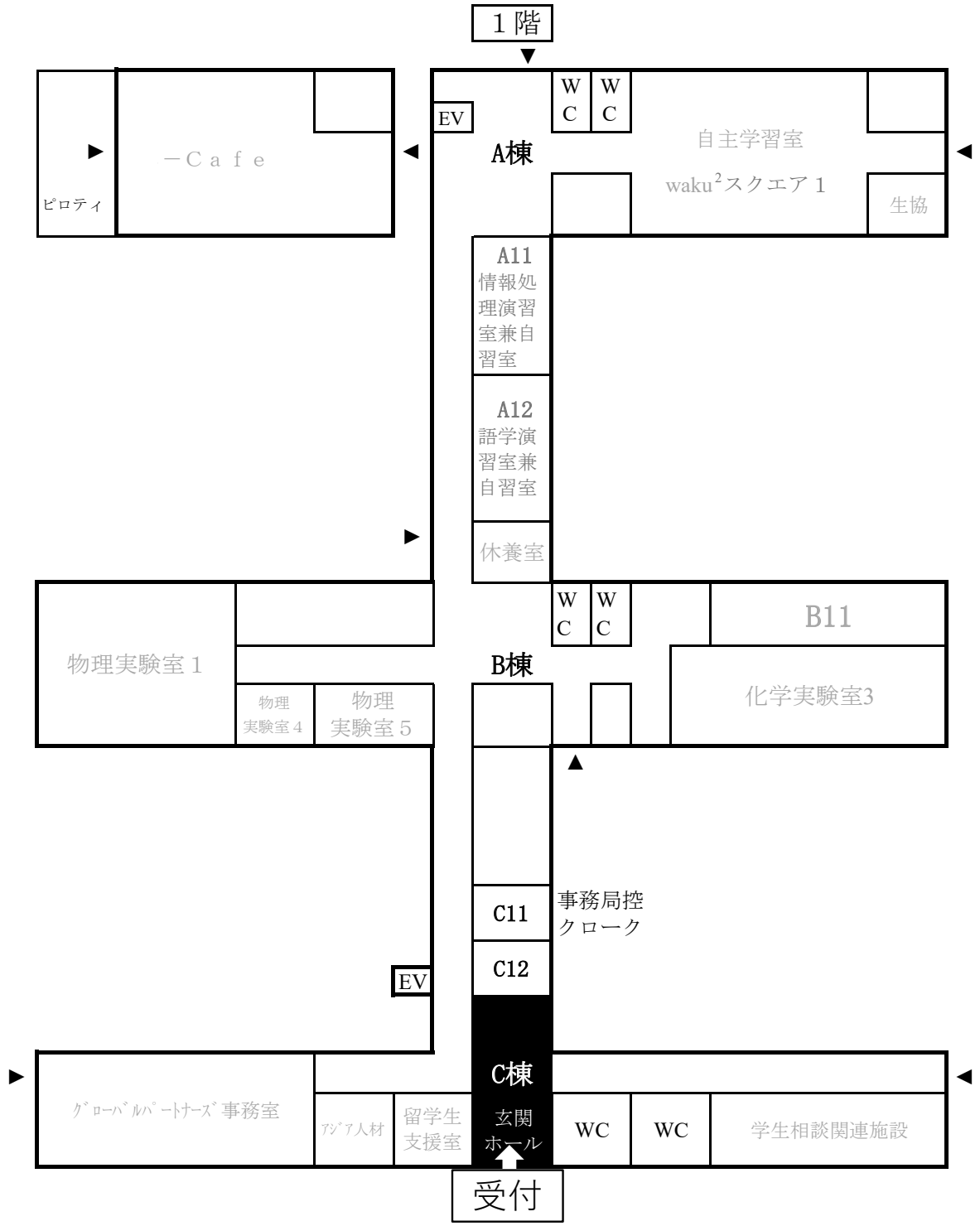
一般教育棟は岡山大学の中央道路を時計塔に向かって進んで右側の奥にあります。



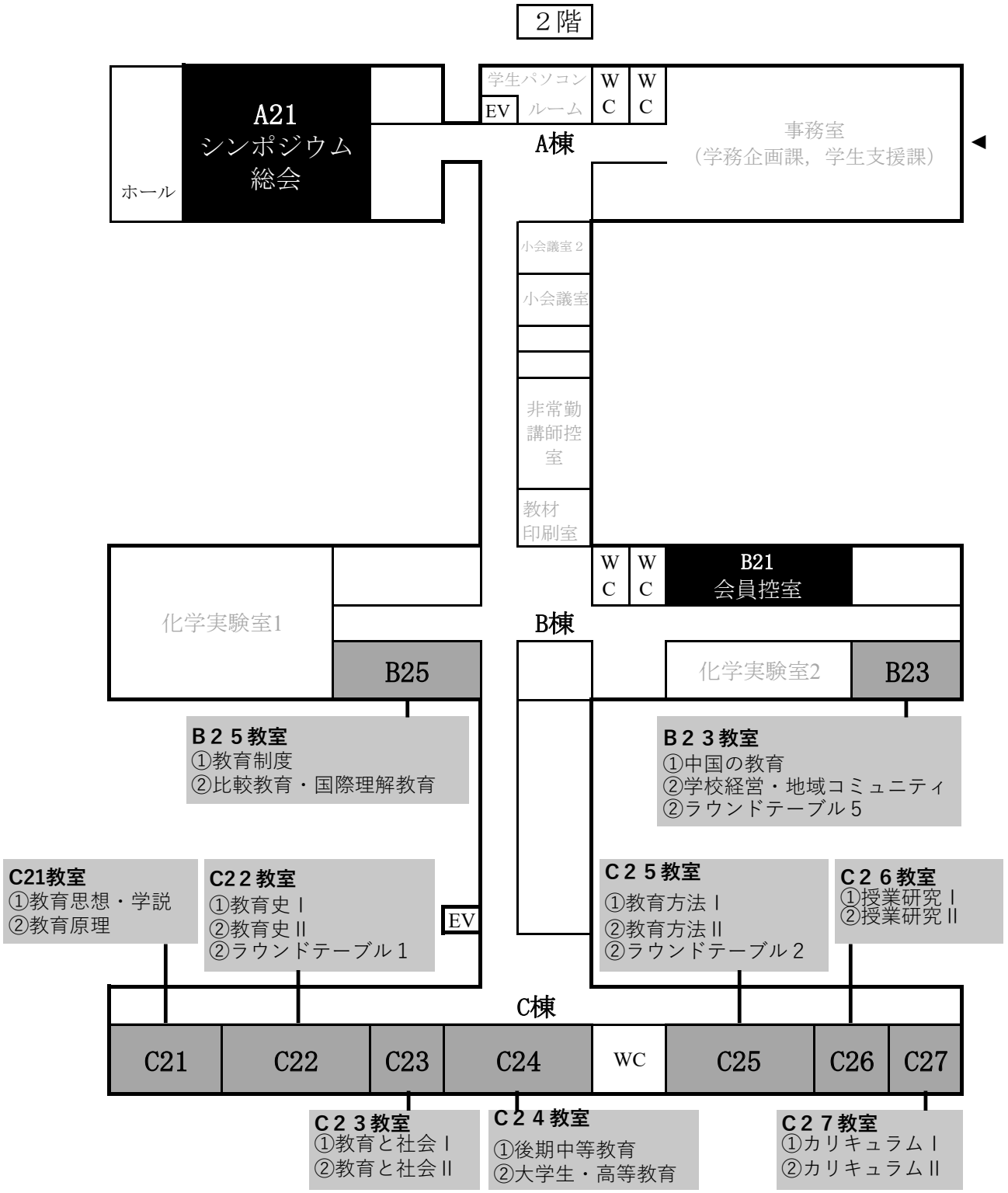


◆大会会場図

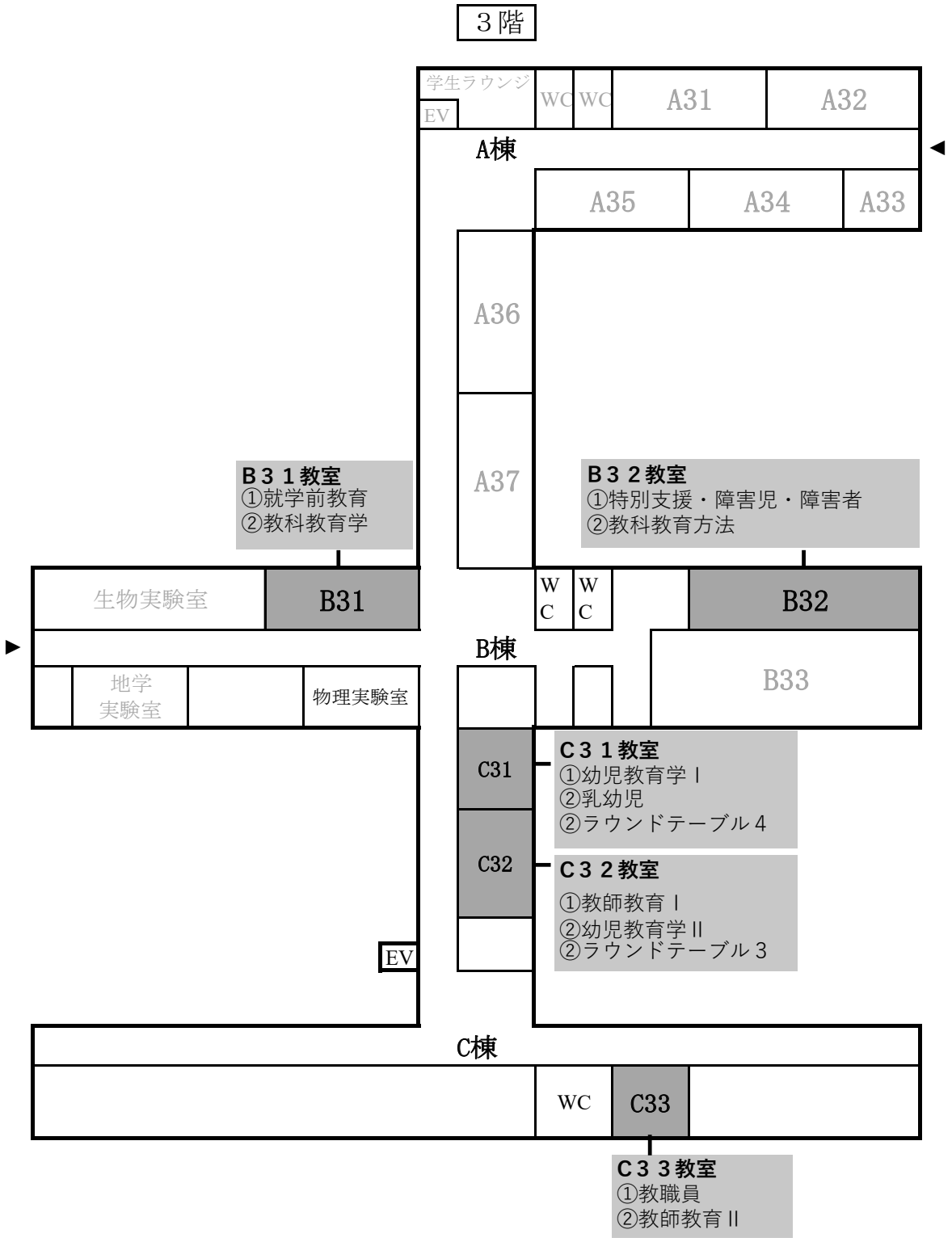
一般教育棟（Ａ棟・Ｂ棟・Ｃ棟）



一般教育棟（Ａ棟・Ｂ棟・Ｃ棟）



一般教育棟（Ａ棟・Ｂ棟・Ｃ棟）



『教育学研究紀要（CD-ROM 版）』第70巻（2024年度刊行予定）
原 稿 募 集

中国四国教育学会では、『教育学研究紀要（CD-ROM 版）』第70巻を刊行するため、広く会員の方々から投稿原稿を募集いたします。つきましては、下記に従い、投稿原稿を提出いただきますようご案内申し上げます。

記

１．原稿提出締切（厳守）

2024年12月６日（金）23:59まで

２．原稿提出方法

今年度の投稿はオンライン提出にて行う予定です。

投稿フォームは**学会 HP に大会後に**掲載いたします。

学会 HP「機関誌」内、「教育学研究紀要掲載申込について」

http://cssse.hiroshima-u.ac.jp/html/keisai.html

３．投稿資格（編集規程・要綱をよくご確認ください。）

刊行当該年度の学会大会で発表した者

論文原稿は未刊行のもので、当該年度の学会大会で発表したものに限る。

投稿件数は、原則として１人１編とする。共同研究など連名で投稿する場合は２編まで許可する。ただし、代表執筆者として投稿できるのは、個人研究・共同研究を問わず、１人１編までとする。

ラウンドテーブルなどの成果に基づく論文に関しては、編集委員会の承認を経て別途掲載することができる。

４．原稿提出に関する注意事項

（１） 原稿執筆にあたっては、**必ず原稿執筆テンプレートをご使用ください。**学会 HP に掲載されている「中国四国教育学会倫理綱領」、および「『教育学研究紀要（CD-ROM 版）』編集規程および執筆要綱」をご参照ください。

なお、**掲載申込用紙、原稿執筆テンプレート（個人研究用）/（共同研究用）、投稿者チェックリストは学会 HP に掲載しておりますので、ダウンロードしてご使用ください。**

（２） 原稿は、完成原稿をご提出下さい。原稿執筆者による校正はございません。

（３） 紀要掲載費は、**個人研究及び共同研究いずれも5,000円**です。掲載費納入締切は原稿提出日に準じます。

※紀要掲載費はシクミネットにてお支払いいただきますようお願いします。本イベントの「チケット購入」欄よりチケットを購入し、紀要掲載費をお支払いください。

※シクミネットでのお支払いにおきましては紀要掲載費5,000円に加え、システム手数料が必要となります。お支払い方法によってシステム手数料が異なりますのでよくご確認の上、お支払いください。

（４） **例年、書式の設定等、原稿執筆要綱を遵守されていない原稿が数多く見受けられます。原稿執筆要綱に著しく反する原稿については受理いたしかねます。ご注意願います。**

※研究成果の公表は学術的根拠に基づき、虚偽や剽窃等のないようご配慮願います。

以上

なお、ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせ下さいますようよろしくお願い申し上げます。

〔お問い合わせ先〕
広島大学大学院人間社会科学研究科　教育学コース内
中国四国教育学会事務局
『教育学研究紀要（CD-ROM 版）』担当　安藤和久
Tel：(082)424-6744　E-mail：csssej@hiroshima-u.ac.jp

大会　第一日

A-1「教育思想・学説」部会

会場：C21教室　　9：30 ～ 12：20

司会：白銀　夏樹
（関西学院大学）

① 9:30 音楽教育における子どもの思考に関する研究
辻　勇介
（広島文化学園短期大学）

② 9:50 イヴァン・イリイチの「コンヴィヴィアリティ」を再考する
―コモンズ論として読む試み―
小川　直樹
（広島大学大学院・院生）

③ 10:10 思考様式をめぐるカリキュラム論の動向・課題
池田　隆英
（岡山県立大学）

④ 10:30 「傷つきやすさ」の否定的帰属に関する批判的検討
―バトラーの「抵抗」概念を手がかりに―
小笠原愛美
（広島大学大学院・院生）

【休憩10分】

⑤ 11:00 篠原教育学におけるヴィンデルバント受容の特質
○佐藤　宗大
（日本女子大学）
○深見　奨平
（宮崎大学）
○宮本　勇一
（岡山大学）

⑥ 11:40 「対話的な学習」論における「知識」と「思考」の役割に関する批判的考察
板野　誠
（広島大学大学院・院生）

12:00 【全体会】

大会第一日　11月23日(土)

A-2「教育史Ⅰ」部会

会場：C22教室　　**9：30 ～ 12：20**

司会：三時眞貴子
（広島大学）

①	9:30	「生徒指導」のルーツに関する探索的研究	石田　美清 (順天堂大学)
②	9:50	高坂正顕の道徳教育観念に関する一考察 ―その「「種の限定」理解の特質に着目して―	于　旻崢 (広島大学大学院・院生)
③	10:10	19世紀末イングランドにおける暗記に基づく宗教教育 ―国民協会教師用手引書の検討を中心に―	中村　好甫 (広島大学客員講師)
④	10:30	第一次大戦期イングランドにおける成人教育と学校教育 ―全英教師組合と労働者教育協会を中心に―	土井　貴子 (岡山理科大学)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	日本における少女雑誌におけるユーモア記事欄と読者の様相	田中　卓也 (育英大学)
⑥	11:20	明治日本の辞典における「研究」概念	白石　崇人 (広島大学)
	11:40	【全体会】	

A-3「教育と社会Ⅰ」部会

会場：C23教室　　9：30 ～ 12：20

司会：津多　成輔
（島根大学）

①	9:30	高等教育段階における「進路変更」に関する研究の現状と課題	金弘　実久 (広島大学大学院・院生)
②	9:50	第３の場を利用していた子ども・若者はその場をどう意味づけているのか～ユースセンターの実践を事例として～	光岡　歩美 (岡山大学大学院)
③	10:10	中国における重点高校政策の変遷	包　婉蓉 (広島大学大学院・院生)
④	10:30	ヤングケアラーに必要な国語科の学びに関する考察	和田　真衣 (関西学院大学大学院・院生)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	人口減少地域における学校改革と教師 ―総合的な学習／探究の時間と特別活動に着目して―	○尾川　満宏 (広島大学) 金弘　実久 (広島大学大学院・院生) 朱　新雅 (広島大学大学院・院生) 陳　冠男 (広島大学大学院・院生) 包　婉蓉 (広島大学大学院・院生) 山本　優 (河原医療福祉専門学校) 山田　浩之 (広島大学)
⑥	11:20	旧学制下工業教員養成所の社会的位置	陳　冠男 (広島大学大学院・院生)
	11:40	【全体会】	

大会第一日　11月23日(土)

A-4「後期中等教育」部会

会場：C24教室　　9：30 ～ 12：20

司会：桑原　敏典
（岡山大学）

①	9:30	共につながりを育む高校教師による生徒支援に関する研究 ―教育福祉論の視点から―	中本　寿江 （広島大学大学院・院生）
②	9:50	「持ち込み可」の定期考査を生徒はどのように捉えたか ―教室の民主化を目指したカリキュラム改善の視点から―	溝口　雄介 （広島大学大学院・院生）
③	10:10	「非通学」による高校教育機会保障 ―通信制高校の在り方をめぐる2022年調査研究協力者会議録の分析を中心に―	川本吉太郎 （広島大学）
④	10:30	日本におけるイエナプラン教育に関する研究	横溝　俊 （岡山大学大学院・院生）
		【休憩10分】	
⑤	11:00	子どもが地域課題の当事者に「なってみる」学びは社会科ドラマ教育にどのような示唆を与えるか ―福島県立ふたば未来学園高等学校実践の授業批評を通して―	大岡　慎治 （広島大学大学院・院生）
⑥	11:20	自治体による高等学校教育環境支援と進路意識の関連	藤井　宣彰 （県立広島大学）
	11:40	【全体会】	

A-5「教育方法Ⅰ」部会

会場：C25教室　　9：30 ～ 12：20

司会：髙木　啓
（千葉大学）

①	9:30	教育実践における性的マイノリティへの合理的配慮に関する一考察	櫻井瀬里奈 (安田女子大学大学院・院生)
②	9:50	選択体系機能言語学における第二言語の話し言葉学習の理論と方法に関する一考察	粟村　正仁 (美作大学・非常勤講師)
③	10:10	日本の教育学研究・教育実践におけるマルクス主義の受容と展開（１)―矢川徳光の場合―	吉田　成章 (広島大学)
④	10:30	「〈音楽家の耳〉トレーニング」システムの特徴	岡田　陽子 (エリザベト音楽大学)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	机間巡視と個別支援 ―授業実践におけるケアの位相―	○深澤　広明 (安田女子大学) ○櫻井瀬里奈 (安田女子大学大学院・院生)
⑥	11:40	フリーセン Norm Friesen の ICT 教育論に関する研究	中野　和光 (美作大学)
	12:00	【全体会】	

大会第一日　11月23日(土)

A-6「授業研究Ⅰ」部会

会場：C26教室　　9：30 ～ 12：20

司会：松田　充
（兵庫教育大学）

① 9:30 高校生の Grit と運動部活動に対する認知的評価の関係

○川下　将史
（広島大学大学院・院生）
大村　悠真
（広島大学大学院・院生）
齊藤　一彦
（広島大学）

② 9:50 保健体育科教員養成課程における体育科模擬授業の成果と課題―教師教育者に対するインタビューを通じて―

○大村　悠真
（広島大学大学院・院生）
福田健太郎
（広島大学附属福山中・高等学校）
齊藤　一彦
（広島大学）

③ 10:10 中学校における「場面劇化」を核とした文学読解プログラムの構想と実践―「少年の日の思い出」、「走れメロス」、「故郷」を中心に―

○今井　博登
（大阪教育大学附属平野中学校）
○松尾　澄英
（大阪教育大学附属平野中学校）
○水野佳那子
（大阪教育大学附属平野中学校）

④ 10:50 日本における体育授業と非認知能力の各構成要素に関する研究動向

○辻　翔吾
（広島大学）
山平　芳美
（立命館大学）
大村　悠真
（広島大学大学院・院生）
齊藤　一彦
（広島大学）

【休憩10分】

⑤ 11:20 体育授業を担う教師の準備運動観に関する基礎的研究―準備運動指導の意識調査から―

○福田健太郎
（広島大学附属福山中・高等学校）
津村　光希
（福山誠之館高等学校）
大村　悠真
（広島大学大学院・院生）
松本　佑介
（広島大学）
齊藤　一彦
（広島大学）

11:40 【全体会】

A-7「カリキュラムⅠ」部会

会場：C27教室　　9：30 ～ 12：20

司会：熊井　将太
（安田女子大学）

①	9:30	東ドイツの教育課程における公民科（Staatsbürgerkunde）の位置と役割	大城　朝周 (広島大学大学院・院生)
②	9:50	オーストラリア保育士養成課程において日本人保育者が経験したカリキュラムの研究	角谷　育美 (広島大学大学院・院生)
③	10:10	北米における現象学的教育学研究の特質と展開に関する一考察	藤原　由佳 (広島大学大学院・院生)
④	10:30	フランスの「Éducations à」に関する基礎的検討	三好　美織 (広島大学)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	学校カリキュラムにおける日本語指導	竹内　陽介 (広島大学大学院・院生)
⑥	11:20	探究的な学びを支える資質・能力 ―「健康プロジェクト（３年)」の実践における国語科とのカリキュラムデザイン―	藤井　義光 (大阪教育大学附属平野小学校)
⑦	11:40	ニュージーランドにおける自国史教育の新たな成立	奥田　久春 (三重大学)
	12:00	【全体会】	

大会第一日　11月23日(土)

A-8「教育制度」部会

会場：B25教室　　9：30 ～ 12：20

司会：藤本　駿
（高松大学）

①	9:30	中国の新大学入試改革	韓　松岑 (広島大学)
②	9:50	明治期における教職員定数の「標準」に関する研究	金城　美紀 (広島大学大学院・院生)
③	10:10	中国における中学校グループ化に関する研究	張　馨 (広島大学大学院・院生)
④	10:30	公立小中学校における食育の推進に関する研究	塩田　良子 (広島大学大学院・院生)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	中国における「卓越した革新能力を持つ人材」の育成に関する一考察	趙　碩 (江蘇大学) ○楊　丹 (広島大学大学院・院生) 毛　月 (広島大学グローバルキャリアデザインセンター)
⑥	11:20	中国「双減政策」のアフタースクールサービスの現状と改善策	曹　潤澤 (広島大学大学院・院生)
⑦	11:40	学びの多様化学校（不登校特例校）における教育機会保障に関する研究	俵　龍太朗 (広島大学大学院・院生)
	12:00	【全体会】	

A-9「中国の教育」部会

会場：B23教室　　9：30 ～ 12：20

司会：劉　国彬
（福山大学）

① 9:30 中国の女子大学生の STEM 専攻選択に関する考察
孫　楊晨曦
（広島大学大学院・院生）

② 9:50 中国における保護者の教育関与
王　可
（広島大学大学院・院生）

③ 10:10 非母語者日本語教師の教育観に関する調査研究
―異文化理解を中心に―
LIYISHUI
（岡山大学大学院・院生）

④ 10:30 道徳教育におけるいじめ対策の日中比較
班　婷
（愛媛大学）

【休憩10分】

⑤ 11:00 伝統文化教育に関する日中比較研究
―「総合的な学習の時間」（日本）と「総合実践活動」（中国）の取組の検討を通じて―
杜　嘉熠
（岡山大学大学院・院生）

⑥ 11:20 中国の「総合実践活動」における実践と評価
○小川　佳万
（広島大学）
小野　寺香
（奈良女子大学）

⑦ 11:40 中国の「双減」政策が教師に与える影響
○周　正
（江蘇大学）
山田　浩之
（広島大学）

12:00 【全体会】

大会第一日　11月23日(土)

A-10「教職員」部会

会場：C33教室　　**9：30 ～ 12：20**

司会：米沢　崇
（広島大学）

①	9:30	保育者が捉える保育者集団に関する研究 ―集団効力感に着目して―	川崎　夏美 （広島大学大学院・院生）
②	9:50	幼児の主体的な解決を促す保育者の支援	河本　眞紀 （学校法人広島信望愛学園 広島マリア幼稚園）
③	10:10	教職員が「協働的省察」を通して学び合う学校づくりに関する研究	灰谷　奈穂 （広島大学大学院・院生）
④	10:30	保育現場に求められる同僚性 ―同僚性研究の系譜と職業特性を手がかりとして―	○村上真理子 （佛教大学大学院・院生） 柏　まり （佛教大学） 佐藤　和順 （佛教大学）
		【休憩10分】	
⑤	11:00	なぜ今，社会科教師の教職アイデンティティを明らかにする必要があるのか	露口　幸将 （広島大学）
⑥	11:20	教育における「まとまりとは」を問う亀田正秋の学校経営に関する考察	○曽余田浩史 （広島大学） ○曽余田順子 （なし）
	12:00	【全体会】	

A-11「教師教育Ⅰ」部会

会場：C32教室　　9：30 ～ 12：20

司会：別惣　淳二
（兵庫教育大学）

① 9:30 実習校指導教員の指導観に関する一考察
―指導教員Aへのインタビューを通して―
馬越　夕椰
（広島大学大学院・院生）

② 9:50 日本語教師【養成】で求められる「資質・能力」はどのように身についたか
―学生による到達度評価から考察する―
○元木　佳江
（四国大学）
○城本　春佳
（四国大学）
○山﨑　寛子
（四国大学）

③ 10:30 JICA海外協力隊に参加した現職教員の成長について
小林　信行
（広島大学大学院・院生）

【休憩10分】

④ 11:00 教職員の人材育成に関する一考察
―スクールリーダー育成研修を振り返って―
○米谷　剛
（広島大学）
○杉原　満治
（広島大学）

11:40 【全体会】

大会第一日　11月23日(土)

A-12「幼児教育学Ⅰ」部会

会場：C31教室　　**9：30 ～ 12：20**

司会：中坪　史典
（広島大学）

①	9:30	国際バカロレア初等教育プログラム（PYP）における芸術教育の役割―幼児期の音楽と舞踊の活動に着目して―	沖中春志郎 (エリザベト音楽大学大学院・院生)
②	9:50	レゴの人間学的考察	中野　桂子 (筑紫女学園大学)
③	10:10	幼小接続期における道徳教育に関する研究	前田　舞子 (名古屋女子大学短期大学部)
④	10:30	小林美実の表現論における問題の所在と指導のあり方	武内　裕明 (弘前大学)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	現象学にもとづく子どものすがたの記述方法の比較 ―二人称的記述と鯨岡峻のエピソード記述に着目して―	武島　千明 (広島大学大学院・院生)
⑥	11:20	インクルーシブな視点からみた異年齢保育	深澤　悦子 (広島都市学園大学)
	11:40	【全体会】	

A-13「就学前教育」部会

会場：B31教室　　9：30 ～ 12：20

司会：三村　真弓
(エリザベト音楽大学)

① 9:30 保育者の職場環境と保育の自己評価に関する一考察
西村　美乃
(佛教大学)

② 9:50 園生活における幼児のレジリエンスとその育成に関する研究
―テキストマイニングを用いた分析から―
劉　梅
(広島大学大学院・院生)

③ 10:10 幼小接続期における文学的理解に関する絵本の可能性Ⅰ
―絵本『かいじゅうたちのいるところ』に対する反応の検討―
磯野　千恵
(山陽学園短期大学)

④ 10:30 学習指導要領「特別活動」の歴史的変遷からみる幼保小連携の可能性
○山本　優
(河原医療福祉専門学校)
○梅田　崇広
(愛媛大学)

【休憩10分】

⑤ 11:20 日本語コミニュケーションに課題のある保護者と保育を繋ぐ支援教材に関する研究
―保育者の意識調査を手がかりとして―
○柏　まり
(佛教大学)
佐藤　和順
(佛教大学)

11:40 【全体会】

大会第一日　11月23日(土)

A-14「特別支援・障害児・障害者」部会

会場：B32教室　　**9：30 ～ 12：20**

司会：吉田　茂孝
（大阪教育大学）

①	9:30	障害児に対する即興的な音楽療法に関する研究 ―髙山仁氏の「2023年度：教育・保育・音楽療法関係者のための専門講座」の学習内容に着目して―	麻生　温可 (エリザベト音楽大学・学部生)
②	9:50	父親の子育てに関する一事例	森　依子 (東九州短期大学)
③	10:10	地域資源を活用した生活単元づくり ―知的障がいのある生徒の社会経験を育むための支援体系づくり―	福谷　理恵 (至誠館大学)
④	10:30	知識と体験を接続した障害理解教育の実践開発 ―小学校の総合的な学習の時間における福祉領域より―	藤原　至恩 (愛媛大学大学院・院生)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	肢体不自由特別支援学校40年の変遷 ―制度上の変化と現場の視点から問いかける―	○福谷　憲司 (元筑波大学付属桐ヶ丘特別支援学校) ○福谷　理恵 (至誠館大学)
	11:40	【全体会】	

公開シンポジウム

会場：一般教育棟 A21
13：30 ～ 16：30

AI 時代の学びのあり方

【趣旨】

日々進化を遂げる人口知能（AI）は人間の生活世界の隅々にまで影響を及ぼしています。その広がりは、「AIが仕事を奪う」というメッセージに象徴されるような人間労働の代替装置を超越し、局地紛争における兵器の自動化にまで及ぶと言われています。また、デジタル技術の飛躍的発展に伴い、AIによって生成される多種多様な情報は、選挙キャンペーンにおけるフェイクニュースなどのように、社会に多大な影響を及ぼしています。

このように、急速に進化するデジタル技術とAIの時代において、学びの形や教育のあり方について幅広く考察する機会として本シンポジウムを設定しました。

これまでの学校における練習（Üben）は知識・技能の定着や認識の進化・発展に寄与する重要な学びの一形態であると、捉えられてきました。現行の学習指導要領においても「思考力・判断力・表現力」の育成及び「学ぶ意欲」の醸成と同様に、「生きて働く知識と技能」の獲得が重視されるのも、児童・生徒の自立に対する教育効果が認識されてきたためです。

他方、伝統芸能の伝承場面では、学校教育とは異なる練習の方法と意義が確認されてきました。ここで行われる学び、すなわち模倣による文化の伝承は、先行世代と後発世代との人間関係を形成し、同時に、固有な地域の文化と歴史を共有することでコミュニティの形成と発展に寄与するものでした。

また学校教育においても、とりわけ芸術関連科目は日本の伝統文化の継承を目標としてきました。その代表である小学校における国語科の書写では、高学年で年30時間程度の毛筆学習が設定されており、学習指導要領では「適切に運筆する能力の向上につながるよう，指導を工夫すること」が内容として特記されています。

人間を凌駕する学習能力と現実を自在に加工するデジタル技術をあわせもつAIの登場は、上述の学びにどのような影響を及ぼすのでしょうか。本シンポジウムでは、国内外の研究者･実践家による練習をめぐる報告をもとに、「AI時代の学びのあり方」を広く検討していきます。

【司会者】

尾島　　卓（岡山大学）
梶井　一暁（岡山大学）

【登壇者】

マルテ・ブリンクマン（Malte Brinkmann）（フンボルト大学ベルリン）
　デジタル時代の身体性・学習・教育―その可能性と課題
前田　秀雄（書家・篆刻家、岡山大学等非常勤講師）
　筆と iPhone
渡部　信一（東北大学名誉教授）
　AIと「学び」、そして身体性

大会　第二日

B-1「教育原理」部会

会場：C21教室　　9：30 ～ 12：20

司会：深見　奨平
（宮崎大学）

① 9:30 教育学における「わざ言語」概念の再検討
山本　一輝
（広島大学大学院・院生）

② 9:50 教師にとって「深い省察」とは何か
―教師の「自己理解」に着目して―
原田　真紘
（広島大学大学院・院生）

③ 10:10 欧米圏におけるアーレント受容とその教育学的展開
深谷　周平
（広島大学大学院・院生）

④ 10:30 ジュディス・シュクラーの不正義論に関する一考察
―リーガリズム批判と「不正義の感覚」に着目して―
髙須　明根
（広島大学大学院・院生）

【休憩10分】

⑤ 11:00 ミーシュケスにおける教育的指導の手段に関する学としての Pädotropika
安藤　和久
（広島大学）

⑥ 11:20 「動員」の民主主義的側面と市民性教育への導入可能性
―シャンタル・ムフの左派ポピュリズム論を手がかりに―
山中　翔
（広島文化学園大学）

11:40 【全体会】

大会第二日　11月24日(日)

B-2「教育史Ⅱ」部会

会場：C22教室　　9：30 ～ 12：20

司会：小宮山道夫
（広島大学）

①	9:30	戦後における銘仙の復興から衰退に至る歴史を再考する	柴　静子 (広島大学名誉教授)
②	9:50	大正新教育期における教師の移動とネットワーク交流 ―岡山県倉敷小学校への学事視察者の動向を中心に―	鈴木　和正 (常葉大学)
③	10:10	別府女子専門学校の設置過程	今井　航 (福山大学)
④	10:30	漢文教育実践史の展開 ―小路口真理美氏の場合―	渡辺　春美 (高知大学名誉教授)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	新潟県立長岡工業学校における卒業生の進路	烏田　直哉 (東海学園大学)
⑥	11:20	戦後ヴェーニガーの Sozialpädagogik に関する一考察 ―Kameradschaft を中心に―	田中　崇教 (広島文教大学)
	11:40	【全体会】	

B-3「教育と社会Ⅱ」部会

会場：C23教室　　9：30 ～ 12：20

司会：都島　梨紗
（岡山大学）

①	9:30	中国における若者のギャップイヤー観	謝　米科 （広島大学大学院・院生）
②	9:50	平和教育に関する教師の経験	亀井　恭祐 （広島大学大学院・院生）
③	10:10	過剰適応傾向のある児童のコミュニケーションに関する考察	南　咲貴子 （関西学院大学大学院・院生）
④	10:30	平成仮面ライダーに見る人間像	羅　大為 （広島大学大学院・院生）
		【休憩10分】	
⑤	11:00	学級における「合意」をめぐる相互作用過程への着目可能性	梅田　崇広 （愛媛大学）
⑥	11:20	中国都市部における中学校教員の職場環境	関　奕セン （広島大学大学院・院生）
⑦	11:40	中国における教員と保護者の関係に関する研究	王　玉涵 （広島大学大学院・院生）
	12:00	【全体会】	

B-4「大学生・高等教育」部会

会場：C24教室　　9：30 ～ 12：20

司会：宇田　響
（くらしき作陽大学）

① 9:30 体育系大学における大学生活のイメージギャップについて
―１年生を対象とした縦断調査から―
○常浦　光希
（広島大学大学院・院生）
伊住　継行
（岡山大学）

② 9:50 食生活の指導を学ぶ大学生の意識調査
―大学カリキュラムや生徒指導場面の改善への示唆―
○柴田　紗知
（岡山県立大学）
松原　主典
（広島大学）
海切　弘子
（広島文化学園短期大学）
大坂　遊
（周南公立大学）
番匠谷研吾
（福山大学）

③ 10:10 大学ポートレート（私学版）による情報発信は十分に行われているのか―「更新情報」を手がかりに―
竹内　正和
（大手前大学）

④ 10:30 地域の大学生による「部活動アシスタント」への期待に関する事例研究―関係者に対するインタビュー調査から―
○北林　真実
（広島大学大学院・院生）
齊藤　一彦
（広島大学）

【休憩10分】

⑤ 11:00 運動部活動経験者の挫折とそこからの立ち直りの過程
―全国レベルの大学生競技者に着目して―
○平川　雄大
（広島大学大学院・院生）
松本　佑介
（広島大学）
齊藤　一彦
（広島大学）

⑥ 11:20 大学図書館における地域連携活動の可能性と課題
松岡　礼子
（至学館大学）

11:40 【全体会】

B-5「教育方法Ⅱ」部会

会場：C25教室　　9：30 ～ 12：20

司会：八木　秀文
（大阪体育大学）

①	9:30	学校入門期における授業づくりと集団づくりに関する一考察	阿蘇真早子 (広島大学大学院・院生)
②	9:50	テスト後における学習内容のさらなる定着を図るための指導実践―セルフレクチャーとしての機能を包含した訂正ノートの在り方に着目して―	明比　宏樹 (愛媛県今治市立伯方小学校)
③	10:10	教師と子どもが共同で立ち上げる授業づくりとカリキュラムに関する一考察―ザイツ (S. Seitz) のインクルーシブ教授学を手がかりに―	市川　博文 (広島大学大学院・院生)
④	10:30	生活指導論における教育課程の自主編成の位置づけに関する一考察	福田　敦志 (広島大学)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	英語を用いた海上 VHF 無線通信中に生じるコミュニケーション上の誤解―日本人英語学習者に対する海事英語教育の視点から―	水島　祐人 (独立行政法人海技教育機構／広島大学大学院・院生)
⑥	11:20	ドイツにおける学級経営の理論と実践	○早川　知宏 (島根大学) ○熊井　将太 (安田女子大学)
	12:00	【全体会】	

大会第二日　11月24日(日)

B-6「授業研究Ⅱ」部会

会場：C26教室　　9：30 ～ 12：20

司会：尾島　卓
（岡山大学）

①	9:30	戦後日本における授業研究運動の展開と特質 ―『授業研究』誌の分析を手がかりに―	明　月 （広島大学大学院・院生）
②	9:50	弾き歌い指導をめぐる諸課題に関する一考察	伊達　優子 （就実短期大学）
③	10:10	公立小学校におけるフォニックスを活用した外国語活動・外国語科の授業計画の提案 ―私学Ａ校の授業実践の結果を活用して―	大岡　紘子 （広島大学教職大学院）
④	10:30	社会科授業における子ども主体の問いの生成過程 ―異質な他者に対する子どもの関わり方に着目して―	松元　陽紀 （広島大学）
		【休憩10分】	
⑤	11:00	兵庫教育大学における授業研究アーカイブの開発と試行	○別惣　淳二 （兵庫教育大学） 松田　充 （兵庫教育大学）
⑥	11:20	インクルーシブ教育時代に求められる教師の専門性	吉田　茂孝 （大阪教育大学）
	11:40	【全体会】	

B-7「カリキュラムⅡ」部会

会場：C27教室　　9：30 ～ 12：20

司会：樋口　裕介
（福岡教育大学）

①	9:30	子どもの当事者意識を高める「地域とともにある学校』におけるカリキュラム・マネジメントに関する研究	山本　竜太 （広島大学大学院・院生）
②	9:50	戦後教育学研究における生活を綴る営みの位置づけに関する研究―1950-1960年代の教育関連雑誌の分析をとおして―	澤田　百花 （広島大学大学院・院生）
③	10:10	インターセクショナルな不正義に敏感な市民を育成する社会科単元開発研究 ―単元「『被差別部落女性』が被る交差的差別」―	和田　尚士 （広島大学大学院・院生）
④	10:30	学びの“真正性”の再検討 ―オルタナティブスクール『竹林のスコレー』の学びの分析を通して―	坂本　圭 （広島大学大学院・院生）
		【休憩10分】	
⑤	11:00	「価値探究アプローチ」を基盤としたカリキュラム・マネジメントに関する研究	山田　龍彌 （広島大学大学院・院生）
	11:20	【全体会】	

B-8「比較教育・国際理解教育」部会

会場：B25教室　　9：30 ～ 12：20

司会：小川　佳万
（広島大学）

①	9:30	社会科教育学における歴史的エンパシーの語られ方とその要因―教育借用概念を枠組みとして―	後藤　伊吹 (広島大学大学院・院生)
②	9:50	台湾の本土語文教育に関する一考察 ―金門県編纂の閩南語教科書に着目して―	石井佳奈子 (広島大学大学院・院生)
③	10:10	BEVI による学習成果の可視化 ―DHP プログラムの成果の検証―	須田　康之 (兵庫教育大学)
④	10:30	多文化主義思想における自己の位置に関する試論	岡村美由規 (広島大学)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	カリキュラム MACOS の開発におけるブルーナーの関わり	相馬　宗胤 (高松短期大学)
⑥	11:20	中国における教員の保護者対応 ―教員へのインタビューデータ調査から―	朱　新雅 (広島大学大学院・院生)
⑦	11:40	エストニアにおけるデジタル教科書の現状と挑戦	二宮　皓 (広島大学名誉教授)
	12:00	【全体会】	

B-9「学校経営・地域コミュニティ」部会

会場：B23教室　　9：30 ～ 12：20

司会：金川舞貴子
(岡山大学)

①	9:30	J.ラダックの「生徒の声」研究としての学校改善論に関する考察	船川　結衣 (広島大学大学院・院生)
②	9:50	学校・家庭・地域をつなぐ専門職の課題と展望―スクールソーシャルワーカー、小学校二種免許状、子ども家庭ソーシャルワーカーから―	岡正　寛子 (川崎医療福祉大学)
③	10:10	コミュニティ・スクールと学校運営協議会の活性化と 教育経営構造の革新に関する一考察–高知県内のコミュニティ・スクールと学校運営協議会の事例研究を中心に–	○立田　理紗 (高知工科大学) ○中村　直人 (高知工科大学)
		【休憩10分】	
④	11:00	エンジニアの仕事とチームの課題解決能力に関する一考察	藤墳　智一 (宮崎大学)
⑤	11:20	「写生」を原理とした学校づくりにおける「観察」に関する一考察	○曽余田順子 (なし) ○曽余田浩史 (広島大学)
	12:00	【全体会】	

B-10「教師教育Ⅱ」部会

会場：C33教室　　9：30 ～ 12：20

司会：久恒　拓也
（新見公立大学）

① 9:30 教職倫理研究における感情の位置づけに関する批判的考察
金弘　理志
（広島大学大学院・院生）

② 9:50 教育委員会と連携した教員養成のあり方に関する一考察
―山陰教師教育コンソーシアムの事例を通して―
○大矢　龍弥
（広島大学大学院・院生）
○井辺　和杜
（広島文教大学）
内田　圭佑
（倉敷芸術科学大学）
○太田　淳平
（聖ヶ丘保育専門学校）
金弘　実久
（広島大学大学院・院生）
○川本吉太郎
（広島大学）
坂本　達也
（茨城大学）
○佐々木龍平
（別府大学）
○藤原　由佳
（広島大学大学院・院生）
○村上　和厳
（広島大学大学院・院生）

③ 10:30 専門外の人間が教職科目をどう教えるか？―「教育方法及び技術」に関する科目を事例として―
○大坂　遊
（周南公立大学）
柴田　紗知
（岡山県立大学）

【休憩10分】

④ 11:00 AAR サイクルと「ノシアック」プロセスに基づいた「教職論」の授業づくり―「主体的・対話的で深い学び」の経験を創出する―
中島　義和
（今治明徳短期大学・FC今治高等学校里山校）

11:20 【全体会】

B-11「幼児教育学Ⅱ」部会

会場：C32教室　　9：30 ～ 12：20

司会：武内　裕明
（弘前大学）

①	9:30	円滑な幼小接続に向けた幼児教育カリキュラムの在り方に関する一考察―３要領・指針の分析を中心に―	北山　佳恵 (広島大学大学院・院生)
②	9:50	モンテッソーリ教育の幼稚園における音楽表現の実態と保育者の課題意識	藤尾かの子 (エリザベト音楽大学)
③	10:10	絵本を使った幼児期の子どもの言葉の育みについての研究	遠藤　文子 (聖カタリナ大学短期大学部)
④	10:30	沖縄県の幼小連携接続に関する研究 ―「５歳児１年保育」に着目して―	野原　美幸 (広島大学大学院・院生)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	多文化保育研究の成果と課題	富田　雅子 (広島文化学園短期大学)
⑥	11:20	日中における乳幼児の言語発達と父親の養育行動の関係	王　岳川 (広島大学大学院・院生)
⑦	11:40	明るい農村「山のようちえん」の実践の特徴 ―小郡幼稚園の食育・木育・わらべうたに着目して―	三村　真弓 (エリザベト音楽大学)
	12:00	【全体会】	

大会第二日　11月24日(日)

B-12「乳幼児」部会

会場：C31教室　　9：30 ～ 12：20

司会：深澤　悦子
(広島都市学園大学)

①	9:30	音楽表現活動「子どもキャラバン」における保育者養成校の学生の学び	明本　遥 (松山東雲女子大学)
②	9:50	自然保育をベースにした保育における人と関わる力に関する研究―さくら・さくらんぼ保育の実践園を題材にして―	木村　友紀 (中国学園大学大学院・院生)
③	10:10	乳児と養育者間の情動的コミュニケーションにみる音楽性	森澤　麗 (エリザベト音楽大学 大学院・院生)
④	10:30	2歳児保育における保育者の援助	前野さゆり (広島大学大学院・院生)
		【休憩10分】	
⑤	11:00	エミ・ピクラーによる乳幼児の運動発達理論	川内紀世美 (大阪健康福祉短期大学)
	11:20	【全体会】	

B-13「教科教育学」部会

会場：B31教室　　9：30 ～ 12：20

司会：山田　秀和
（岡山大学）

① 9:30 日本における「身体リテラシー」概念に関する研究動向
森垣　雅俊
（広島大学大学院・院生）

② 9:50 読書紹介文から探る中学生の読み
野中　拓夫
(四天王寺大学)

③ 10:10 伝統音楽のアレンジに関する考察
―４名の高校生へのインタビューを通して―
齋藤　紘希
（広島市立日浦中学校）

④ 10:30 複数教科の教員免許を取得すれば教科横断的な授業を実践できるのか
―数学科と社会科の連携授業を事例にして―
○吉田純太郎
（広島大学大学院・院生／日本学術振興会特別研究員 DC）
○須田　祐介
（広島大学大学院・院生）

【休憩10分】

⑤ 11:20 ドイツの「政治教育」はなぜ学校を取り上げるのか
―政治教育スタンダードにおける小学校でのタスクを事例に―
○宅島　大尭
（大阪産業大学）
○奥村　尚
（民間企業）
○高松　尚平
（太宰府市立太宰府西中学校）
二宮　諒
（美濃市立美濃中学校）
○村田　一朗
（大垣市立北中学校）

12:00 【全体会】

B-14「教科教育方法」部会

会場：B32教室　　9：30 ～ 12：20

司会：幾田　伸司
（鳴門教育大学）

①	9:30	中学校国語教科書における説明的文章の教材史研究 ―生物を題材とした記録・報告的な教材を中心に―	清水　穂香 （広島大学大学院・院生）
②	9:50	小学校国語科における批判的リテラシーに関する一考察 ―貧困家庭を生きる子どもたちの学びの観点から―	森川　蓉子 （関西学院大学大学院・院生）
③	10:10	特別活動における所属決定過程に関する研究動向 ―クラブ活動に着目して―	持田　洸 （立正大学）
④	10:30	小学校道徳教科書にみる歌唱教材と指導内容	須田　珠生 （小樽商科大学）
		【休憩10分】	
⑤	11:00	リーディングスパンテストで用いる英文の質とワーキングメモリ容量の関係性	浅井　智雄 （福山平成大学）
⑥	11:20	論理国語におけるディスカッションドラマの可能性 ―主体的／対話的／深い学びを実現する探究活動の開発―	○小路口真理美 （大阪教育大学） ○脇　忠幸 （関西学院大学）
	12:00	【全体会】	

ラウンドテーブル１

会場：C22教室
13：30 ～ 15：30

複数教科の教員免許取得制度を日本へ導入する可能性を考える

【企画者】

吉田純太郎（広島大学大学院・院生／日本学術振興会特別研究員 DC）

【提案者】

吉田純太郎（広島大学大学院・院生／日本学術振興会特別研究員 DC）
「趣旨説明」
武島　千明（広島大学大学院・院生）
嶋田　亘佑（広島大学大学院・院生／日本学術振興会特別研究員 DC）
「複数教科の教員免許を取得することの意味を取得者はどのように理解しているか」

【指定討論者】

宮本　勇一（岡山大学）
「指定討論―２教科の免許取得が制度化されているドイツの教員養成制度を踏まえて―」

【企画趣旨】

文部科学省の「免許外教科担任の許可等に関する指針」（2018年10月５日策定、2024年５月８日一部改訂）では、「教科横断的な視点で学習内容等を組み立てていく力」等の指導力の向上を目的として、現職教員や教員志望学生へ複数教科の教員免許状の取得を推奨している。しかし、日本の中等教員養成課程においては、単一の教科で免許を取得することが一般的であり、複数教科の免許取得はレアケースである。果たして教師志望学生は複数教科の教員免許を取得すべきなのか。仮に取得を推奨するのであれば、現行の教員養成の仕組みやカリキュラムはいかに改めていけばよいのか。本企画では、実際に複数教科の教員免許を取得した若手教師4名へのインタビュー調査の成果を手がかりにして、これら課題について議論する。教員免許の価値が揺らぐ今こそ、教科教育・教師教育・教育制度等に関心のある会員諸氏と、今後の教員養成のあり方をともに構想したい。

ラウンドテーブル２

会場：C25教室
13：30 ～ 15：30

教育哲学の日独対話

（教育哲学会及びドイツ教育学会教育哲学委員会合同事業、
日本フンボルト協会中国四国支部、中国四国教育学会共催）

【企画者】

櫻井　佳樹（香川大学）

【提案者】

マルテ・ブリンクマン（Malte Brinkmann）（ドイツ・フンボルト大学）
「練習の教育哲学（Pädagogische Philosophie des Übens）」

【指定討論者】

今井　康雄（東京大学名誉教授・教育哲学会会員・日本フンボルト協会会員）

【企画趣旨】

日本とドイツの教育学会の研究交流を推進するために、現代ドイツの著名な教育学者の一人、現象学的教育学者マルテ・ブリンクマン（フンボルト大学）を招聘し、講演会を開催する。ブリンクマンが着目する練習（Ueben）という現象の特質とは何か。経験、学習、陶冶、教育等の類似した概念との差異はどこにあるのか。またそのことに着目する現代的な意義はどこにあるのか。ドイツと日本それぞれの文脈を比較しながら議論する。対面で参加する本学会員のほかに、オンラインで参加する教育哲学会会員、日本フンボルト協会会員と議論を行う。

ラウンドテーブル３

会場：C32教室
13：30 ～ 15：30

地域と学校の協働を軸とした教育機会保障に関する学際的研究（1）

【企画者】

俵　龍太朗（広島大学大学院・院生）

【司会者】

吉田　成章（広島大学）・安藤　和久（広島大学）

【提案者】

澤田　百花（広島大学大学院・院生）・明　月（広島大学大学院・院生）
「趣旨説明」
佐々木 龍平（別府大学）
「調査報告①」
俵　龍太朗（広島大学大学院・院生）
「調査報告②」
松尾　奈美（島根大学）
「調査報告③・論点提示」

【企画趣旨】

現在、全国に約30万人存在する不登校児童生徒に対する支援のあり方が問われている。また、教育基本法第13条では「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」が規定され、様々な形で地域と学校の連携・協働が取り組まれている。例えば、熊本市が実施する「フレンドリーオンライン」は地域と学校が協働した不登校児童生徒支援として注目に値する。この取組みは不登校児童生徒支援における多様な学びのあり方として注目を集める一方で、このような不登校児童生徒にとっての地域と、地域にとっての不登校児童生徒支援という双方向の意味／意義づけについては、教育学研究として調査・分析する余地が残されている。本企画では、地域と学校の協働を軸とした多様なニーズに応える学習システムの構築について、教育学の領域を横断した調査・分析により不登校児童生徒の普通教育機会保障の実態と課題を明らかにする。

なお、本企画は2024-25年度中四国教育学会課題研究の助成を受けている。

ラウンドテーブル４

会場：C31教室
13：30 ～ 15：30

日本人学校における国際理解教育教育の課題と展望
―何を理解することが目指されているのか？―

【企画者】

髙須　明根（広島大学大学院・院生）
太田　淳平（聖ヶ丘保育専門学校）
川本吉太郎（広島大学）
田口　直也（AIC 国際学院京都初等部）
藤原　由佳（広島大学大学院・院生）
守谷富士彦（桃山学院教育大学）
両角　遼平（福山大学）
高橋　奈々（東京学芸大学大学院・院生）
澁谷　優子（筑波大学大学院・院生）

【提案者】

髙須　明根（広島大学大学院・院生）
「趣旨説明」
太田　淳平（聖ヶ丘保育専門学校）ほか
「日本人学校における国際理解教育の学術的課題と展望：異文化間教育をめぐる議論を手がかりに」
守谷富士彦（桃山学院教育大学）・両角遼平（福山大学）
「日本人学校における国際理解教育の実践的課題と展望：社会科教育の実践記録を手がかりに」

【指定討論者】

高橋　奈々（東京学芸大学大学院・院生）、澁谷優子（筑波大学大学院・院生）

【企画趣旨】

近年グローバル化の影響のもと、海外で暮らしている子どもたちの教育が重視されている。昨年度「日本人学校における現地理解教育・国際理解教育・市民性教育の現状」と題したラウンドテーブルを開催し、在外教育施設の一つである日本人学校における社会科教育の実践分析や日台国際児・教職の経験をもとにした報告などを踏まえて議論をおこなった。その上で、「現地」を理解するとはどういうことか、そしてどのような「市民」像を目指して教育がおこなわれているのかという論点が提示された。

そこで本企画では、日本人学校における国際理解教育では何を理解することが目指されているのか学術的・実践的な視座から明らかにし、課題と展望を示すこととしたい。また、二人の指定討論者から報告に対するコメントをもらい、フロアも含めて上記の目的を達成することを目指す。国際理解教育に関心のある方々、教科教育や教育学を専門とする方々にもご参加いただきたい。

ラウンドテーブル５

会場：B23教室
13：30 ～ 15：30

長田新中国講演（1942）の翻訳及び研究

【企画者】

劉　幸（北京師範大学）

【提案者】

山田　直之（関西大学）
1940年代初頭の長田新像：「中国講演」の位置を知るために

劉　幸（北京師範大学）
東洋と西洋の間の長田新

于　旻峥（広島大学大学院・院生）
長田新と京都学派

【企画要旨】

長田新（1887-1961、広島高等師範学校教授、広島文理科大学第五代学長、日本教育学会初代会長）は日本ペスタロッチー研究の第一人者としてよく知られている。彼は広島大学の教育学研究の伝統を築き上げ、それは日本全国における影響力を持ち、特に中国四国地方では深い影響を与えている。しかし、戦中の長田の思想をどう解釈すべきか、それは長年の議論の的となっている。実は、長田は1942年7月に、日本植民地の北京を訪問し、北京師範大学で、中国高校の教員に対して、連続講義を行ったことがある。近年では、『長田新文献目録』（1984）にも載せられていない長田の五回の講演の記録（中国語全訳）が発見された。

本ラウンドテーブルでは、長田新の中国講演録の日本語翻訳および考察を通して、戦時中の日本教育思想の再解釈を展望していきたい。

なお、本企画は2024年度－2025年度中国四国教育学会「課題研究」の助成を受けている。